

SPODフォーラム2018全体アンケート集計結果

アンケート回答者数:170名

回答率:36.95%(昨年41.5%)

回答期間:9/19(水)~10/3(水)正午 ※フォーラム終了3週間後よりWEB入力にて実施

当日参加者数:460名(ポスターセッションのみ参加者3名除く)

SPOD加盟校から:275名

SPOD加盟校以外から:185名

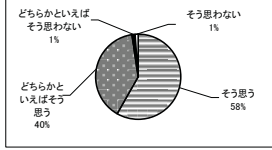
1. SPODフォーラムでの研修成果について

【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

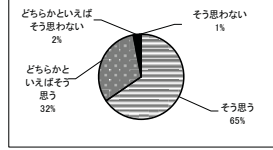
	度数	割合
① そう思う	99	58.2%
② どちらかといえばそう思う	67	39.4%
③ どちらかといえばそう思わない	2	1.2%
④ そう思わない	2	1.2%
計	170	100.0%

無回答 0

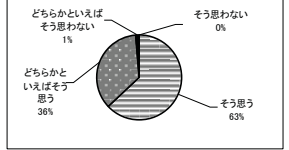
SPODフォーラム2018(香川大学開催)



SPODフォーラム2017(徳島大学開催)



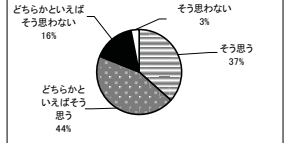
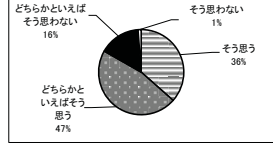
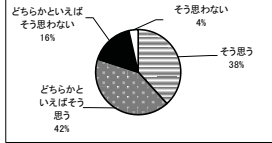
SPODフォーラム2016(愛媛大学開催)



【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	65	38.2%
② どちらかといえばそう思う	71	41.8%
③ どちらかといえばそう思わない	28	16.5%
④ そう思わない	6	3.5%
計	170	100.0%

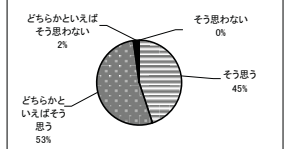
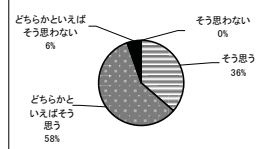
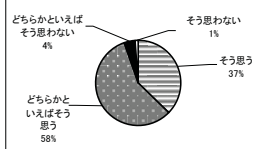
無回答 0



【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	63	37.3%
② どちらかといえばそう思う	97	57.4%
③ どちらかといえばそう思わない	7	4.1%
④ そう思わない	2	1.2%
計	169	100.0%

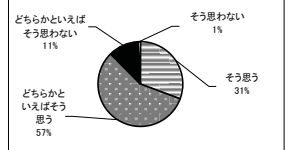
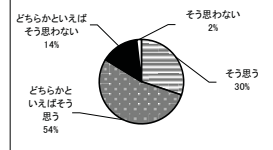
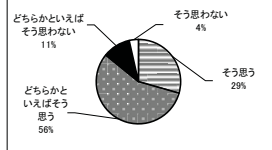
無回答 1



【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	50	29.4%
② どちらかといえばそう思う	96	56.5%
③ どちらかといえばそう思わない	18	10.6%
④ そう思わない	6	3.5%
計	170	100.0%

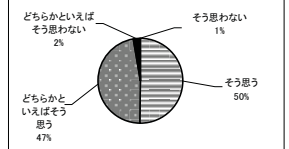
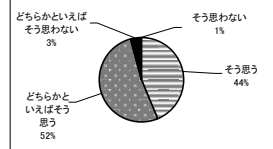
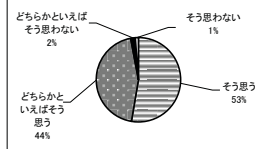
無回答 0



【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	89	52.7%
② どちらかといえばそう思う	75	44.4%
③ どちらかといえばそう思わない	3	1.8%
④ そう思わない	2	1.2%
計	169	100.0%

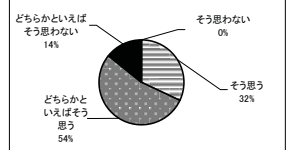
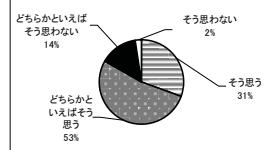
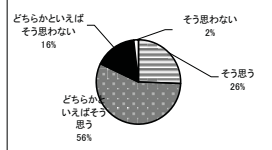
無回答 1



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	43	25.6%
② どちらかといえばそう思う	95	56.5%
③ どちらかといえばそう思わない	27	16.1%
④ そう思わない	3	1.8%
計	168	100.0%

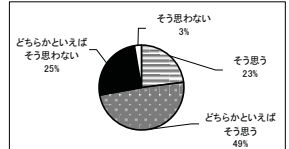
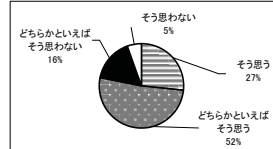
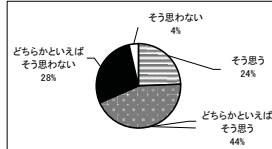
無回答 2



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	41	24.4%
② どちらかといえばそう思う	74	44.0%
③ どちらかといえばそう思わない	47	28.0%
④ そう思わない	6	3.6%
計	168	100.0%

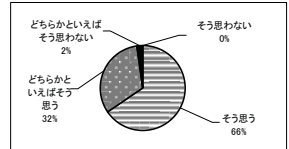
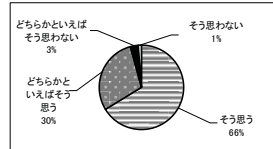
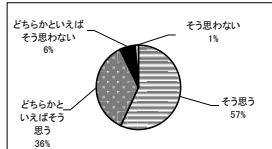
無回答 2



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	95	56.9%
② どちらかといえばそう思う	60	35.9%
③ どちらかといえばそう思わない	10	6.0%
④ そう思わない	2	1.2%
計	167	100.0%

無回答 3

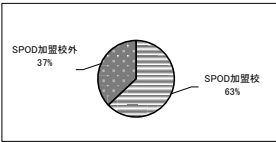


2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

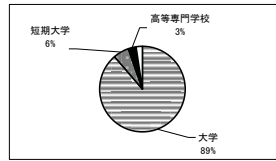
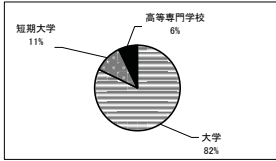
【所属先1】

	度数	割合
① SPOD加盟校	107	62.9%
② SPOD加盟校外	63	37.1%
計	170	100.0%
無回答	0	



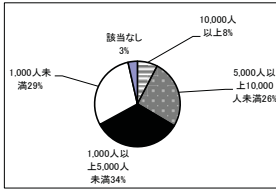
【所属先2】

	度数	割合
① 大学	138	82.1%
② 短期大学	18	10.7%
③ 高等専門学校	11	6.5%
④ その他	1	0.6%
計	168	100.0%
※その他：国立大学協会		
無回答	2	



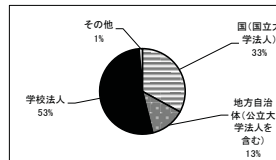
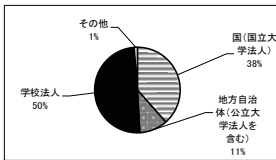
【所属先の学生数】

	度数	割合
① 10,000人以上	13	7.6%
② 5,000人以上10,000人未満	44	25.9%
③ 1,000人以上5,000人未満	57	33.5%
④ 1,000人未満	50	29.4%
⑤ 該当なし	6	3.5%
計	170	100.0%
無回答	0	



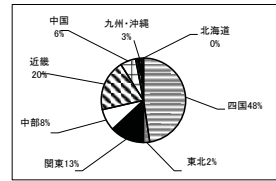
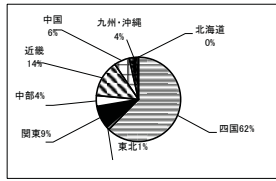
【所属先の設置者】

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	65	38.5%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	18	10.7%
③ 学校法人	84	49.7%
④ その他	2	1.2%
計	169	100.0%
無回答	1	



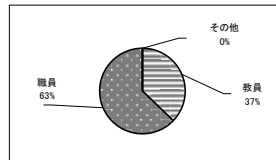
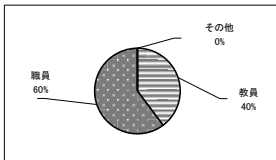
【所属先の所在地】

	度数	割合
① 四国	106	62.4%
② 東北	2	1.2%
③ 関東	15	8.8%
④ 中部	7	4.1%
⑤ 近畿	24	14.1%
⑥ 中国	10	5.9%
⑦ 九州・沖縄	6	3.5%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	170	100.0%
無回答	0	



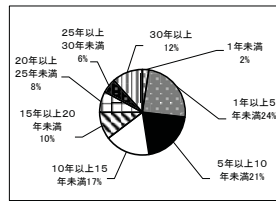
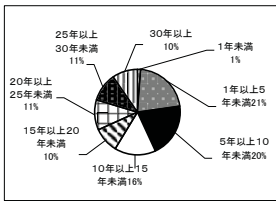
【職種】

	度数	割合
① 教員	66	39.8%
② 職員	100	60.2%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	0	0.0%
計	166	100.0%
無回答	4	



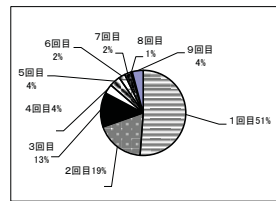
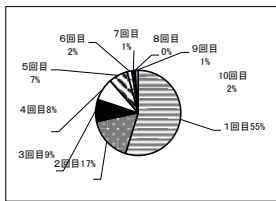
【大学教職員等の経験年数】

	度数	割合
① 1年未満	2	1.2%
② 1年以上5年未満	36	21.6%
③ 5年以上10年未満	34	20.4%
④ 10年以上15年未満	26	15.6%
⑤ 15年以上20年未満	16	9.6%
⑥ 20年以上25年未満	19	11.4%
⑦ 25年以上30年未満	18	10.8%
⑧ 30年以上	16	9.6%
計	167	100.0%
無回答	3	



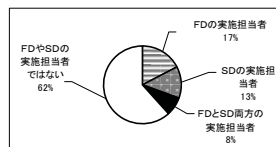
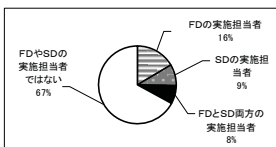
【SPODフォーラムへの参加回数】

	度数	割合
① 1回目	91	53.5%
② 2回目	28	16.5%
③ 3回目	14	8.2%
④ 4回目	14	8.2%
⑤ 5回目	12	7.1%
⑥ 6回目	3	1.8%
⑦ 7回目	2	1.2%
⑧ 8回目	0	0.0%
⑨ 9回目	2	1.2%
⑩ 10回目	4	2.4%
計	170	100%
無回答	0	



【あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？】

	度数	割合
① FDの実施担当者	28	16.5%
② SDの実施担当者	15	8.8%
③ FDとSD両方の実施担当者	13	7.6%
④ FDやSDの実施担当者ではない	114	67.1%
計	170	100.0%
無回答	0	

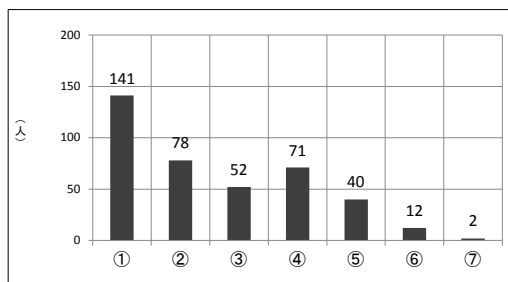


4. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	141	82.9%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	78	45.9%
③ 組織を越えた人脈づくりのため	52	30.6%
④ FDやSDに関する情報収集のため	71	41.8%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	40	23.5%
⑥ 過去の参加者(自身を含む)の評価が高いため	12	7.1%
⑦ その他	2	1.2%
アンケート回答者数		170

その他の記述内容

・ 大学研修の一環として	2
・ 登壇者からの紹介	1
・ 関心のあるプログラムがあったため	1



【SPODフォーラム2018】参加者からの要望等について

(●：SPOD加盟校内意見，○：SPOD加盟校外意見)

■開催時期・開催地について

- 開催日程を早くしてほしい。
- 開催日は前回より今回のほうが良い。
- 学務系事務は12月頃から特に忙しいので、開催日程は前期期間中までにしてほしい。
- 今回の日程が学会（看護教育学会・8/28-29@横浜）と重なっていたため、どちらに参加するかを選ばなければならなかった。
- 会場は愛媛大学か香川大学のどちらかの方が良い。
- 関東圏での開催が可能であれば参加しやすくなる。
- 現在の4県持ち回りでけっこうかと思いますが（各県を訪れるのも楽しいものです）、香川・徳島ですと関西からは高速バスで行きやすいです。

対応

- ・SPODフォーラムは、過去の実績に基づき、他の学会日程にも配慮しつつ、教職員が最も参加しやすい夏期休業中の平日に例年開催している。
- ・今後も四国4県での持ち回り開催を予定している。
- ・来年度は愛媛大学で8月28日（水）～30日（金）に開催する予定である。

■会場について

- 参加者数に対して会場が狭く、やや余裕がないように感じた。
- シンポジウムの会場はもう少し人数にゆとりをもったほうが良いと思います。
- 県外から参加するときに駐車場を構えていただきたい。時間的にも公用車または自家用車を利用するが、駐車場代は勿論、駐車する場所を探すのが大変である。
- 公共交通機関だと時間が制約されるため、駐車場を開放していただければもっと行きやすいと思う。

対応

- ・参加者が利用しやすい会場環境を作り出せるよう、各会場の広さや配置等を検討する。
- ・駐車場については、学内に駐車スペースがないため参加者の皆様には公共交通機関をご利用いただくようお願いしている。今後も引き続き公共交通機関をご利用いただきたい。

■当日のスケジュールについて

- 講師と研修時間外に話をする時間がもう少し欲しかった。昼休憩時間をもう少し長くしていただいたら、学生食堂の混雑が解消できるのではないのでしょうか。
- 日程的にも難しいとは思いますが、もう少し時間があれば良いと思います。
- 全体のプログラム上仕方ないが、1つ1つのセッションによってもう少し長い時間議論等したい、と思えるものが多いため、場合によっては講義形式のものは1コマ、ワーク形式のものは2コマとした方がより学びは深くなるのではないかと感じた。
- 自身が受講していないプログラムを受講した方々と、学びを共有し振り返る時間があると良いなと感じました。
- 復路の交通手段の都合もあり、終了時間を厳守して欲しかった。

対応

- ・県外からの移動時間を考慮すると、プログラム全体として開始時刻や終了時刻、休憩時間を調整することは難しいのが現状であるが、各プログラムの内容に応じて開始時刻や終了時刻を調整するなど対応可能な部分がないか、引き続き検討していく。
- ・講師には、終了時刻の超過に気を付けていただくよう引き続き注意を促していく。

■プログラムの申込みについて

- タイトルが変わっただけで、過去にやったものとほとんど同じなのであれば「このプログラムは〇〇年のプログラムがベースになっています」などのアナウンスをしてほしい。
- 申込時にフォームがどこにあるのかが分かりにくかったのもう少し見つけやすくしていただくと助かります。
- 四国以外の地区の参加者ももう少し早目に申し込みが出来るとより良い。
- 全プログラムを通して参加費が10,000円ですが、空き時間を作らないためにあまり関心のない講座を受講している方も見受けられるので1講座あたり1,000円等、講座数に応じて参加費を設定していただければと思います。

対応

- ・プログラムを選択する際の一助として、新規以外のプログラムについて、基にしている過去のプログラム情報（プログラム名、実施年等）を可能な範囲でシラバスに追記する。
- ・申込みフォームについては、SPODホームページへの表示方法を工夫する。
- ・SPOD加盟校外の教職員の申込み期間を加盟校先行受付期間後としていること、また、参加費を講座単位ではなくフォーラム全体を通じての設定としていることから、SPOD加盟校外の教職員にも希望するプログラムをできるだけ受講していただけるよう、引き続き、同一時間帯に同系統のプログラムが重ならないような配慮や、定員設定の工夫を行う。また、今年度は早い段階で満席となったプログラムについて、講師と調整の上、定員数を増やす対応を行った。今後も、申込み状況を確認しつつ、柔軟に対応していく。

【参考】プログラム受講数（延べ人数／参加人数）

SPOD フォーラム 2018	全体 3.43	加盟校内 2.40	加盟校外 4.95
SPOD フォーラム 2017	全体 3.53	加盟校内 2.36	加盟校外 4.99
SPOD フォーラム 2016	全体 2.92	加盟校内 1.87	加盟校外 4.54

■プログラムについて

- 行きたいプログラムが重なる場合もあったので、人気の高いプログラムは同じ内容で2回すると選択の自由度が高まるかもしれません。
- 満足度の高い講義について、時間を多くとったり受け入れ人数を増やすなども考えてみる必要があるかと思います。
- 同時間帯に受講したい講座が複数ある場合どちらかを優先させなくてはならないので、初任者向けやテーマ別など時間帯による区分があればより受講しやすくなるかと思う。
- 多様な分野の教員が意見交換をする機会も大事だが、それぞれの専門分野や学部特有的な教育課題もあると思うので、学部単位は難しいとしても人文科学系、社会科学系、理工系、医歯薬系などの括りでの開催を検討してもらいたい。
- これからも定期的に新しいプログラムを導入してほしいです。
- 私立大学の職員、教員をどんどん講師として登壇させる企画を増やしてほしいです。
- 講義形式やパネルディスカッション形式で、効率的に学習できるセッションをもっと増やして欲しい。
- 情報端末やパソコンを利用した講習もご検討ください。
- 事前申し込みがなくても自由に参加できるプログラムという選択があってもよいのではないかと思う。
- 各プログラムの席も予め座席指定しておくといいなあと思います。（複数のプログラムを受講の人はメンバーがダブらないような設定を希望します。）
- 事前に配布しているシラバスと当日の内容が異なる講義があった。講師がその場で判断、アレンジすることは大切だが受講生としてはシラバスをもとに講義を受けるため、その場でのアレンジは少なくしてほしい。

対応

- ・今回で10回目の開催となった本フォーラムは、四国内の隣接した4県持ち回りで2009年から毎年開催してきている。この特性を活かし、新しいプログラムを織り交ぜつつ、ニーズの高いプログラムについては複数年連続して開講するなど、参加者が数年かけて一通りのプログラムを受講することを想定したプログラム構成となるよう配慮している（※フォーラム参加回数3回以上：30%）。今後も、この方針を基本とした上で、その年のプログラム検討を行う際は、プログラム時間やプログラム数を確保する方法及び同一時間帯に同一のテーマや受講対象者、新規プログラムが重ならないようなプログラム構成等について、講師や会場の都合も含めた全体的な調整を行っていく。
- ・参加者のグループ分けについては、現在は講師へ事前にグループ分けを行うかどうかの確認をした上で対応している。全プログラム分のグループ分けを行うことは、定員に空きのあるプログラムの多くが当日受付を可能としているため難しいが、引き続き可能な範囲で対応していく。
- ・シラバスがプログラムの内容を的確に表現したものとなるよう、シラバス作成依頼の際に講師へ引き続き注意を促していく。

■ポスターセッションについて

- ポスター発表について、興味関心のあるポスターと発表時間が重なると質問する時間がなく残念でした。メインの発表時間の前後に、フリーに発表を聴ける時間を設けていただけると嬉しいです。
- ポスター発表として開催している時間ですので、説明させない時間を設けるのはどうかと思います。また、ポスター発表者も他のポスター発表を聞きたいと思います。前半、後半と分ける運用では前半にアサインされた発表者は前半の発表者の説明を聞くことができません。前半、後半の運用は今後止めていただきたいです。
- ポスターセッションは、幅広く情報交換ができてとても良い時間ですので、もう少し時間を増やしてもよいかもしれません。奇数番号の発表時間と偶数番号の発表時間を別日にするなど…

対応

- ・ポスターセッションでは、ポスター発表を行う参加者も別のポスターの説明を聞くことができるよう、便宜上、偶数番号と奇数番号で発表時間を分けている。今後は、同一発表時間帯の参加者同士もポスター内容の共有ができるよう、フリーの発表時間を設ける等対応を検討する。

■運営について

- 会場の案内図が少し分かり辛かった。
- シンポジウムでマイクの調子が悪いと内容の理解が難しいので、予め確認をしておいて頂きたかったです。
- フリーの無線LANが参加者も使えるようにしてほしい。通常業務も気にかかるので、メールなどチェックしたい。
- 毎回名刺切れを起こされる先生方が多いので、名刺コピーができるプリンタなどが休憩室などに設置できると良いと思います。
- 各プログラムで使用したPPTのデータを、後日アップしていただきたい。
- 難しいとは思われますが、提示されている方法での実際の授業の様子をWebなり何なりで観られるようになっていくと、事前に選ぶ場合にも、事後に復習する場合にも役に立ちます。

対応

- ・建物内や屋外に案内掲示を設置しているが、全体受付会場付近に大きい会場案内図を準備する等、より分かりやすい案内になるよう掲示場所や掲示内容を工夫する。
- ・マイクを使う会場では毎回事前にマイクテストを行っているが、特に受講者数の多いシンポジウム会場では、事前確認に加え予備マイクを準備する等、急な状況変化にも対応できるよう工夫する。
- ・無線LANについては、その年の会場によって状況が異なるため、参加者への事前連絡時に無線LANが利用可能かどうかの情報提供を行う。
- ・名刺については、参加者への事前連絡時に多めに準備いただくよう連絡しているが、周知時の表現をさらに工夫する。
- ・講義動画の提供は難しいが、各プログラムで使用した資料については、提供可能な資料のみSPODホームページのフォーラムページに例年掲載している。毎年数件の問合せをいただくため、周知方法を工夫する。

《開講してほしいプログラムについて》

授業の組み立て・授業改善等

- ・授業の組み立て方や構成，学生が90分間飽きない授業をするための授業構成について
- ・大人数講義に関するプログラム
- ・異専門教員による学部学生教育についてのプログラム
- ・複数教員による授業の進め方に関するプログラム

アクティブ・ラーニング

- ・アクティブラーニングの中級講座（もう一步授業を改善したいという人向けの講座）
- ・PBLなどのALが体験できるプログラム
- ・World Cafe, ジグソー方, 反転授業, PBLなどそのまま持ち帰られる体験型WS

学生支援・学生対応

- ・学生とのコミュニケーションの取り方について
- ・障がいのある学生への支援及び対応について
- ・発達障害の教職員及び学生への対応について
- ・学修に問題のある学生への対応について
- ・進級や卒業が危うい学生及び保証人への対応について
- ・提供している講義への学生反応について考えさせるようなプログラム
- ・教育支援職の育成
- ・ピアサポートの体制づくり
- ・リメディアル系のプログラム
- ・ラーニングポートフォリオの作成に関するプログラム

コーチング

- ・コーチングに関するプログラム
- ・コーチング的なプログラム
- ・教職員コーチングのための具体的な手法

研究室運営・卒論指導

- ・研究室運営や卒論演習の進め方に関するプログラム（研究室のルール作りやレイアウト，研究テーマの振り方，卒業生との関わり方など）
- ・卒業研究指導やセミナーに関するノウハウ

危機管理・防災

- ・大学の危機管理体制について
- ・危機管理について
- ・研究公正や研究活動上のリスクマネジメントについて（学生のコピーレポート防止，著作権の基礎知識／研究不正（捏造，改ざん，盗用）防止／研究データ管理／利益相反マネジメント，技術情報流出（秘密情報管理，安全保障輸出管理）等）
- ・教職員として「防災力」を身に付ける，実践する研修プログラム

著作権・情報セキュリティー

- ・著作権法改正の影響について
- ・情報セキュリティー関連プログラム（初級・中級）
- ・情報プログラミング教育を受けて入学してくる学生たちへの大学としての対応について

法規

- ・大学に関連する法令の対応について
- ・「教育法規」「大学設置基準」を分かりやすく読み解くための入門プログラム
- ・学務系の基礎的知識向上につながる法律・規則などのプログラム

高等教育に関する基本事項

- ・中教審答申など高等教育の潮流を、現場の実践につなげられるような研修プログラム
- ・答申や認証評価の基本等、大学人として基礎的に知っておくべき事項について学ぶプログラム
- ・質保証等、今後大学に求められる事項に関するプログラム

財務会計

- ・財務関連プログラム（学校法人会計／予算編成／予算削減／補助金等）
- ・財務・会計に関連したプログラム
- ・科研費や助成金について
- ・補助金獲得に向けたプログラム
- ・科研費の事務処理、経常費補助金の内容説明会など事務職員向けのプログラム

I R

- ・I Rに関するプログラム
- ・I Rについてパソコン教室等実際に学ぶプログラム
- ・データ分析の手法について

アセスメントポリシー

- ・アセスメントポリシーに関するプログラム
- ・アセスメントポリシーの大学、学部、学科、学生での評価方法と実施状況についての具体的事例と実施の問題点等

評価関連

- ・セルフアセスメントツール（自己評価ルーブリック等）について
- ・成績評価の基本的考え方について
- ・教員評価について

入試・高大接続

- ・アドミッションオフィサーに関するプログラム
- ・入試面接員の教育について
- ・高大接続（高等学校側からの取組／苦労している点／より良い接続に関しての大学への期待）に関するプログラム

人材育成

- ・人事考課制度に関するプログラム
- ・様々な経験ステージの職員が参加できるキャリア形成プログラム（新規採用職員が定年退職を間近に迎えた職員のキャリアに対する考え方を聞くなど）

管理職向け

- ・ 監督職・執行部研修
- ・ 役員や大学経営人材を対応とした研修

新任向け

- ・ 大学教員新任研修（大学教員に必要なスキルについて）
- ・ 大学職員としての仕事と役割と責任を本当に基礎的なことから学ぶプログラム
- ・ 一般企業からの転職組に対する、初年次教育に必要な学習支援（学生への配慮・現代の活動内容）について学ぶワークショップ

図書館関係

- ・ これからの大学教育と図書館の運営に関するプログラム
- ・ 図書館関連プログラム

教職関係

- ・ 教職事務関係のプログラム
- ・ 教職課程を有する大学同士で情報交換できるようなプログラム

その他（研修の形態等）

- ・ 学生も交えたワークを実施するようなプログラム
- ・ 教職員が同数程度参加できるプログラム
- ・ SDに関する研修を増やして欲しい。
- ・ 職員の階層別プログラム
- ・ 全学の計画／業務実績評価に係る業務，研究支援に係る業務など，専門性の高いプログラム
- ・ それぞれの専門分野に特化した教育課題を考えるプログラム
- ・ 120分コース，1日コース，2日コースなどの多様なセミナー

その他

- ・ 研修プログラム立案に関するプログラム
- ・ 高等教育機関におけるSD・FDの取組と民間企業や各種法人における能力開発の取組との相違や特徴について
- ・ 広報戦略に関するプログラム
- ・ 留学生受入プログラム作成についての研修
- ・ リカレント教育について
- ・ TA／SAの育成に関するプログラム
- ・ 職員組織に対するマネジメントに関するプログラム
- ・ 総務系職員のための労働者雇用や非常勤雇用，外国人雇用等の留意事項について
- ・ 大学職員としての，学生や教職員のカウンセリング入門
- ・ URAではない一般事務職員の研究支援への関わり方に関する研修プログラム